

青北進路通信 第14号

国公立大学42名合格

【国立大学 9名】

弘前大学	教育学部	初等中等教育専攻	1名
	理工学部	機械科学科	1名
		自然エネルギー学科	1名
岩手大学	人文社会科学部	人間文化過程	2名
	理工学部	化学・生命理工学科	1名
		物理・材料理工学科	1名
		植物生命科学科	1名
山形大学	農学部	植物生命科学科	1名
	農学部	食料生命環境学科	1名

【公立大学 33名】

札幌市立大学	看護学部	看護学科	1名
	保健福祉学部	看護学科	1名
名寄市立大学	システム情報科学部	情報アーキテクチャ学科	1名
はこだて未来大学	経営経済学部	経済学科	9名
		経営学科	6名
		地域みらい学科	2名
		看護学科	6名
青森県立保健大学	健康科学部	看護学科	6名
		社会福祉学科	3名
		栄養学科	1名
		理学療法学科	1名
秋田公立美術大学	美術学部	美術学科	2名

(合格者数は一般選抜前期日程までのもの)

今年度の国公立大学合格者数は、総合型選抜・学校推薦型選抜で33名、一般選抜前期で9名、合計42名が合格しました。

今年度の卒業生は、総合型選抜・学校推薦型選抜に向けて、早期に志望理由書の作成などの準備に取り組みました。受験勉強に「フライング」はありません。大学受験(就職試験も)は対策が早ければ早いほど、合格率が高くなります。

だから「0学期」が重要なんです。

部活動も同様です。大会直前になって努力しても、勝敗なんてさほど変わりません。

だから「今」を大切にしてください。1分1秒を。

4月になると、新年度という節目で頑張る高校生が増えます。勘違いしないでください。高校生というのは、周囲のクラスメイトじゃありません。日本全国の高校生のことです。高校受験と違って、ライバルは日本全国にいるんです。

それは部活動も同様です。

周囲の「緩さ」に合わせたらだめです。以前、ある北高にいらした先生が「北高時間」ということを話していました。「北高時間」とは、北高の中だけで流れる緩い雰囲気の意味です。登校したらスマホでゲーム・SNS。課題のわからないところは、解答を書き写して終わり。授業でわからないところはほったらかし。家庭での勉強は考査前だけ。

そんなこと、全国の受験生はしていませんよ。

朝、登校してから始業までの時間。授業の小テストまでの時間。昼休みの時間。登下校の時間。

寸暇を惜しんで、全国の高校生は勉強しています。

それが学生の本来あるべき姿であり、当たり前なのです。

しかし「当たりのレベル」にすら達していない生徒がまだまだ見られます。部活動同様に、教室に入ったらスイッチを切り替え、北高生全員で学習へ向かう雰囲気作りをしていきましょう。

2年生 志望理由書の添削開始

学年末考査終了から数日後に、2年生の国公立大学志望者のうち、総合型選抜・学校推薦型選抜の受験を希望する生徒に集まってもらいました。そこでは、受験の心構えについて確認し、ある程度志望校が固まっている生徒には志望理由書を提出してもらったところ、22名の生徒が提出してくれました。

提出された志望理由書は、進路指導部の教員で分担して、添削を開始しました。作業の速い生徒は、2回目の添削指導を受けて、3回目の志望理由書の作成にとりかかっています。総合型選抜や学校推薦型選抜の出願は半年後なので、まだまだ先のことに思えますが、志望理由書が完成しなければ、面接練習を開始することができません。なぜなら、面接試験は志望理由書の内容をもとに行われるからです。また、志望理由書の完成が遅れば、小論文の練習にも集中して取り組むことができないでしょう。以上のことから、志望理由書を早期に完成させることは、合格を勝ち取るうえで、大変重要度が高いと言えるのです。

志望理由書を提出した生徒には、ある共通点があります。それは「なりたい職業」「解決したい社会問題」「将来成し遂げたいこと」が明確だという点です。まだまだ内容は不十分ですが、熱意は十分に伝わってきた志望理由書が多数ありました。

その「熱意」が最も重要です。

なぜなら、その熱意は「内発的」に湧き出てきたものだからです。他者からの指導や命令で、熱意は湧き出ません。

どんな職業に就いて、どんな社会問題の解決に貢献して、何を成し遂げたいのか。これらのことが明確になったときに、志望理由書は完成に近づくのではないかと思います。

繰り返しになりますが、受験の準備に「フライング」はありません。今の自分にできること、目のやるべきことに全力で取り組んでください。

春休みの計画を立てよう

3月27日(土)から4月6日(火)の11日間、春休みになります。春休みまで残り1週間となりましたので、今から計画を立てるようにしましょう。部活動の遠征がある生徒は、春休みの課題を計画的に進める必要があります。また、大学や専門学校のオープンキャンパスに参加する生徒は必ず下に示した「旅行届(オープンキャンパス等)」を提出してください。

新型コロナウイルス感染症が再び拡大傾向にありますので、県外に行く場合には保護者とよく相談してください。また、WEB形式・オンライン形式のオープンキャンパスも行われていますので、志望校のホームページを確認するようにしましょう。

特に2年生は、今後の新型コロナウイルス感染症の状況によって、今年度の卒業生と同様に、様々な活動における制約が予想されます。今のうちにできることを積極的にやっておくことが重要になります。また、興味のある分野に関する書籍も読むようにしましょう。

姓	名	学年	性別	日付	欄外
旅行届(オープンキャンパス等)					
氏名	姓	名	学年	性別	
住所	〒		番	番	番
出発	月	日	時	分	
到着	月	日	時	分	
出発	月	日	時	分	
到着	月	日	時	分	
出発	月	日	時	分	
到着	月	日	時	分	
出発	月	日	時	分	
到着	月	日	時	分	

昨年度までの進路に関する資料を自由に持ち帰りできます

期 間：3月22日（月）～3月26日（金）

対象生徒：1・2年生全員

場 所：3階小ホールおよび職員室前廊下

資料内容：大学・短大・専門学校のパフレット

大学・短大・専門学校の募集要項

大学の赤本（2015・2016の2年分）

就職関係の冊子・資料等

その他 数多くの進路関係資料

※持ち帰り禁止の物は持っていかないこと



進路コラム

市場原理主義

歴史を振り返り、私たちの考え方に伏流するものを考えてみたいと思います。

「市場原理主義」はイギリスのピューリタンが教会から弾圧された結果、新天地を求めて大西洋を渡り、現在のアメリカ合衆国を建国する中で生まれた、歴史的に見ても新しいものです。

ピューリタンの考え方には「職業召命説（神が一人一人に使命・義務を与えたもの＝職業とする考え方）」と「予定説（世界の終末に際し、メシアが現れて死者を甦らせ最後の審判を下すとする考え方）」という特徴があります。

神に救済される人間は「神に救われる兆候がある」と考え、その兆候は現世における耐えざる努力であり、その結果富が蓄積されると考えます。この兆候がない限り地獄に落ちることになるため、この兆候を求めるために蓄財に励むこととなります。ピューリタリズムは金銭への欲望を解き放ち、際限のない欲望を神の認めるものとしたのです。

以上から、私たちの行動基準に大きな影響を与えた「市場原理主義」は、極めて宗教色の強い、特殊な価値観であると言えます。繰り返しますが、極めて「特殊」です。

特殊なことが特殊に感じられないのは、「市場原理主義」に同意する人が多いからでしょう。

当たり前のことですが、同意する人が多いから、正しいということにはなりません。

多数決で決定した事柄が全て正しいとは言えないことくらい、高校生ならわかると思います。

多数決に頼るのは、その決め方以外に納得できる方法を見出せないだけです。

「多数決は大概間違ふ」というのが、民主主義の専門家の大方の意見です。

市場原理主義が正しいと仮定しても、それが教育の場に適用できるか否かは、全く別の話しです。

労働者（生産者）は自由に利潤を追求するようになり、消費者は「できるだけ安く、いいモノを手に入れる」という価値観に従って行動するようになりました。

やがて、人はこの価値観を教育の場にも適用するようになり、生徒は「消費者」として大きな勘違いするようになります。

差し出す対価は「貨幣」や「努力」、商品は「成績」や「進路」です。

だから、生徒は最低限の努力で（できるだけ安く）高い成績を収めようとする（いいモノを手に入れる）ようになります。

学校という教育の場は本来、隣のクラスメイトや隣のクラスより課題や講習が多い方が、感謝される場のはずです。

しかし、そう考える人が少数派になってきたように感じます。

なぜなら、「消費者」にとって差し出す対価（学習努力）が多いことは、「損」としてカウントされるからです。

「俺、勉強しないで赤点とらなかった」ということを満足げに語る生徒がいますが、こちらから見れば「愚鈍さ」を競っているようにしか見えません。

なんでも効率的に処理することがよいことではないんですよ。勘違いしないでください。

このような価値観が教育の場に持ち込まれて、生徒がよく口にするようになった言葉が「意味がない」です。

進路通信第3号でも述べましたが、学校はショッピングセンターではありません。

まして、高校生に授業や課題や講習の「意味」を査定する能力はありません。

高校生が口にする「意味がない」は、「やりたくない」か「損」のどちらかです。

「意味がない」と口にした生徒は、その瞬間に成長が止まります。だから、学校で決して口にしてはいけない言葉なんです。

なぜなら、勉強も部活動も長い時間をかけて努力しなければ、絶対に成果は出ないからです。

効率的に成長する方法なんてありません。

「できるだけ安く、いいモノを手に入れる」という価値観を学業や部活動に持ち込まないこと。

それが成長につながります。